

蕨市議会だよりナンバー227      2024 年 9 月発行号

蕨市議会では第 9 回議会報告会を開催いたします。今年の会場となる西公民館には蕨市のマスコットキャラクターたちが駆けつけてくれました！議会報告会については 14 ページ（裏表紙）にもお知らせを掲載しておりますのでご確認ください。多くの皆様にご覧いただき、ぜひご意見やご質問をお聞かせください。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX 番号 048-432-7991

## 6 月定例会

令和 6 年 6 月定例会は、6 月 3 日から 21 日までの会期で開催され、初日に市長から市政の報告が行われました。

3 日間にわたって行われた一般質問では、16 人の議員が市政の重要課題を取り上げ、執行部の見解を問いました（4～12 ページ参照）。

最終日には、陳情 2 件を不採択とし、市長提出議案 9 件を原案のとおり可決・承認して閉会となりました。

## 6 月定例会の主な議案の内容

### 一般会計補正予算（第 2 号）

今定例会では、4 7 7 4 万 8 千円を増額する補正予算案を可決しました。主な内容は次のとおりです。

#### ◆スマートウエルネスシティの推進

スマートウエルネスシティの推進に向けて、アクションプランの策定、また、子どもから大人まで幅広い世代の市民が、ウォーキングなどを楽しみながら身体活動の向上を図るイベントの実施や、チラシの作成などを含む事業に係る費用を計上しています。

なお、今秋には市民公園でウォーキングイベントの開催を予定しています。

※スマートウエルネスシティとは・・・健康で幸せを実感できるまちを目指す取り組みのことです。今年度からスタートした第 3 次わらび健康アップ計画においても、重点的に取り組む事項として掲げています。具体的には、「からだ健康チェック会」、「フレイル予防教室」、「いきいき百歳体操」、「コバトンアルコウマイレージ」などといった取り組みが挙げられます。

#### ◆都市計画等変更委託

市立病院及び西公民館の移転建替えに伴い、立地適正化計画及び都市計画の変更費用として、3 7 5 万 1 千円を計上しています。

#### ◆西公民館等建設工事設計委託

西公民館及び老人福祉センター松原会館の移転建替えに伴い、複合施設建設工事に係る基本設計委託に要する費用を計上しています。なお、令和 9 年 4 月（予定）からの供用開始に向けて、設計業務が途切れることなく行えるよう、継続費としています。

第二中学校屋上防水及び外壁改装工事

工事概要は、校舎の屋上防水の劣化、及び外壁の塗装の剥がれや亀裂が多数生じているため、屋上の防水と外壁の改修を行います。

契約方法は、一般競争入札とし、5月に電子入札を行い、その結果、落札した中島建工株式会社と、契約金額1億8612万円をもって、請負契約を締結するものです。

学習者用端末（小・中学校）の購入

児童・生徒用端末464台及び管理用ライセンスの購入を行います。

契約方法は、指名競争入札により7社を指名し、5月に入札を行い、その結果、富士電機ITソリューション株式会社と契約金額2965万4240円をもって契約を締結するものです。なお、納期は令和6年7月末の予定です。

7月臨時会 議案の内容

7月臨時会は、7月23日から7月25日までの会期で開催され、「財産の取得について」の議案1件を原案のとおり可決しました。内容は次のとおりです。

消防ポンプ自動車の購入 蕨市消防団第6分団の消防ポンプ自動車を更新します。昨年度、第3分団に導入した車両と同様に、コンパクトなサイズで機動性があり、車両重量を3.5トン未満に抑えることによって、普通自動車免許においても運転することができる車両となります。納期は、令和7年3月の予定です。

常任委員会の構成の一部が変わりました

総務常任委員会

委員長、おおしいけいこ、副委員長、とちもとよしかね、たけしたりょう、えのもとかずたか、ほんだていこ、まえかわやすえ

環境福祉経済常任委員会

委員長、やまわきのりこ、副委員長、しょうのこうじ、みやしたなみ、かなまるけんじ、こばやしりき、おおしいこういち

令和6年6月定例会・7月臨時会における議案等に対する賛否結果

6月定例会

陳情第4号 インボイス廃止を国に求める意見書を政府に送付することを求める陳情書

新翔会※1 下記参照 共産党○ 公明党× 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）  
○ 日本維新の会× 結果不採択

陳情第5号 国に対して「訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を行うことを求める意見書」の提出を求める陳情

新翔会× 下記参照 共産党○ 公明党× 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）  
○ 日本維新の会× 結果不採択

議案第37号 蕨市税条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第38号 蕨市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第39号 蕨市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 40 号 蕨市将来ビジョン審議会条例を廃止する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 41 号 令和 6 年度蕨市一般会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 42 号 工事請負契約の締結について第二中学校屋上防水及び外壁改修工事 全会一致で賛成 原案可決

議案第 43 号 財産の取得について 学習者用端末 小学校、中学校 全会一致で賛成 原案可決

議案第 44 号 専決処分の承認を求めることについて 蕨市税条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 45 号 専決処分の承認を求めることについて 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

※1 新翔会 9 名のうち、小林議員退席、左記 1 名を除いた 8 名の議員×

※2 陳情第 4、5 号については討論が行われました。討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。

## 7 月臨時会

議案第 46 号 財産の取得について 消防ポンプ自動車 CD-I 型 全会一致で賛成 原案可決

市議会ホームページから会議録の閲覧、検索ができます

パソコンやスマートフォンなどで、議会の会議録 本会議会議録、委員会記録をご覧いただくことができます。

会議録の閲覧方法

①をクリックすると、会議の種類と開催年を指定することができ、閲覧したい会議録をお選びいただけます。

会議録の検索方法

②をクリックすると、検索語や発言者の種別など、条件を絞り込んで検索することができます。

## 市政を問う！一般質問

6 月定例会では、17、18、19 日の 3 日間で 16 人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

市立病院移転・建替え基本構想を問う！

しょうの こうじ議員（しんしょうかい）

議員 地域医療連携担当と、そこに携わる医療ソーシャルワーカーや理学療法士など、専門職の拡充が必要と考えるがいかがか。

病院事務局長 今後の医療において、医療機関同士の連携はさらに重要となることが見込まれ、地域医療連携担当の充実が求められると考える。

現在、医療機関からの患者の受け入れや転院などの調整は、看護師 2 名と会計年度の事務職員 1 名が担い、退院支援は社会福祉士 1 名が行っている。

看護師不足と看護師確保対策について

議員 今後、人口減による看護師不足が懸念されるが、看護師確保の対策として、住居支援や院内保育所、休憩室の充実、ラダー研修、認定看護師等の人材育成を行うことのほか、業務の効率化や看護師の負担軽減が必要であると考えているがどのようなか。

病院事務局長 当院では、看護師が働きやすいように、住居支援や院内保育、ラダー研修や認定看護師の研修などに取り組み、各病棟や外来に看護休憩室を確保している。また、新病院整備に当たり、患者の状態を確認できるセンサーの導入や、看護記録の入力と情報共有を図るスマホの活用など、看護師の意見を参考に検討していきたい。

留守家庭児童指導室の長期休業日のお弁当配達対応について

議員 子育てしたくなるまちづくりを推進するために、留守家庭児童指導室などの環境を整備することは大事だと考える。留守家庭児童指導室の長期休業日におけるお昼ご飯のお弁当の配達対応についてはどのようなか。

健康福祉部長 民設民営 5 室及び公設民営 1 室の計 6 室は、留守家庭児童指導室の指導員が申込み受付や発注・集金を行い、公設公営 1 室、公設民営 4 室の計 5 室については、保護者の有志グループが対応している。

議員 こども家庭庁が発表した食事提供事例集の取り組みを本市で活かすことは可能か。

健康福祉部長 食事提供事例集の調査・研究の中で、指導員や保護者の手間がかからないお弁当注文決済代行システムの利用について把握しており、導入を検討していきたい。

議員 できる限り早急な対応をお願いする。

ほかに 「市役所に出店しているキッチンカー」について質問。

市立病院移転・建替え基本構想を問う！

おかだ みきお議員（しんしょうかい）

議員 市立病院は、感染症対策、救急医療、災害時の後方支援等、自治体病院としての役割は大きい。南部医療圏での連携及び地域医療を支えながら経営改善を行う考えはあるのか。

病院事務局長 当院は県が定めた圏域の公立医療機関としての役割を果たしつつ、同じ圏域の医療機関との連携を図り、一定の役割を担っていると考えている。その上で地域医療を支える病院とするとともに、経営改善に取り組んでいく。

回復期医療を担う病院、看取りを行う病院の必要性について

議員 今後、高齢者の医療需要が見込まれる中、回復期医療機能を有する病院の重要性は高まると考えるが、どのように検討されているか。また、看取りを行う病院が必要だと考えるがどうか。

病院事務局長 当院としても急性期のみならず回復期医療機能を担うことが高齢者の医療ニーズに対応できると考えており、検討を進めている。現在、看取りについてはできる限り対応させていただいており、看取りの需要も見込まれるため、引き続き対応していく。

議員 病院の入院機能についての柔軟な対応及び住民ニーズに沿った診療科の検討をすべきだと考えるがどうか。

病院事務局長 今後の医療需要等を踏まえると、ケアミックス型が南部医療圏における役割、また、本市における地域包括ケアシステムの一翼を担う上でも重要であると考えており、柔軟な対応に取り組んでいきたい。また、診療科における専門領域については、今後の医療ニーズや医師の確保という点も踏まえながら、特別診療科と合わせて検討が必要であるとする。

病室の完全個室化について

議員 病室の個室化を進めた場合、入院環境改善や感染症対策等多くのメリットがある。また、個室化により稼働病床の効率化を図る必要性があると思うがいかがか。

病院事務局長 個室は患者ニーズがある上に様々なメリットがあるため、個室の確保は重要な課題であると認識している。総量面積等から完全個室化は難しいが、なるべく多くの個室を確保できるよう検討したい。

議員 課題はあるものの、感染症対策、認知症患者の受け入れ対策、個室を必要とする診療科等を加味して、できるだけ個室化を進めていただきたいと要望する。

市立病院移転・建替え基本構想を問う！

かなまる けんじ議員（しんしょうかい）

議員 駐車場の整備についてはどのように考えているか。

病院事務局長 敷地内における建物面積とのバランスだが、しっかりと検討していきたい。

議員 ぷらっとわらびの充実についてはどうか。

市民生活部長 アクセスの要望等を踏まえ、協議を重ねていきたい。

議員 住所に関わらず、アクセスしやすい環境づくりを要望する。また、地域包括ケア病床の導入など、議会でも多くの議論が深まってきているので、年内には示された方針を市民に伝え、対話する機会を確保してほしい。さらに、建築発注の際には、コンストラクションマネジメント方式の活用や、デザインビルド方式、E C I 方式など本市に合った方法を取り入れてほしい。

人口動態のデータを踏まえたまちづくりの議論を

議員 本市の直近の出生数、及び日本人と外国人の内訳はどうか。

市民生活部長 令和5年度の出生数は496人で、日本人が396人、外国人が100人となっている。

議員 出生数、出生率は減少が止まらない。また、出生数の約20%が外国籍であり、34歳に限ると、人口の26.8%が外国籍となり驚く数値である。私も地域活動では国籍に関係なく子ども達と遊び、外国籍の保護者にも役員を担っていただいているが、全ての政策分野に係る数字だと思う。皆様の知恵を持ち寄り、蕨のまちを創っていきたい。

時代と生徒のニーズに合った不登校生徒支援を！

議員 本市では昨年、不登校児童、生徒が20%以上増えた。中学校内のステップアップルームの設置目的を通常学級への復帰ではなく、各生徒に合った居場所、学びの場の提供へと変えていくメリット・課題をどう考えるか。

教育長 教室への復帰のみを主眼に置かず、それにとらわれずに過ごすことで安心感が生まれる。個々のニーズに応じたカリキュラムを編成したり、生徒自身がその日の活動を決めることで、学びに向かう気持ちが高まるというメリットがある。人的配置や環境整備がニーズに追いついていないことが課題だと考える。

議員 最終責任は市にある。悲しい思いをしている子どもが一人でも笑顔になれるよう、奏功している岡崎市や戸田市やアスポートの事例も取り入れた環境整備を要望する。

市立病院移転・建替え基本構想を問う！

とちもと よしかね議員（しんしょうかい）

議員 現在の各診療科における医師の状況及び今後の医師確保についてどのようなか。

病院事務局長 令和6年6月1日現在の常勤医師は計14名。外科医及び整形外科医それぞれ1名ずつの補充に至っていないため、引き続き医師の確保に取り組んでいく。

議員 近年、女性医師は増加傾向にある。今後、女性医師に必要な勤務環境をどのように考えるか。

病院事務局長 女性専用の当直室等の数が不足しており、確保が必要である。引き続き出産育児休業や時間短縮勤務等の対応を行うほか、保育環境の改善、復職の支援、勤務体制、診療体制等、女性医師が働きやすい環境を先進事例を通して調査・研究していく。

議員 医師の働き方改革で考えられる今後の対応はどのようなか。

病院事務局長 常勤医師の負担軽減対策の一環として、非常勤医師を加えた勤務体制とする等、適宜対応を図っていきたいと考える。

議員 コミュニティホスピタルと市立病院の違いはどのようなか。また、総合診療科の設置についての見解は。

病院事務局長 地域に根ざした医療機関として、専門の枠にとらわれずにかかりつけ医的な診療を行っている点は、コミュニティホスピタルと方向性や考え方は同じであると考え。現在、内科では専門外の症状であっても診療を行っていることに加え、総合診療科医も非常勤で週2回診察を行っている。現内科と総合診療科の診察の差異はあまりないため、総合診療科の設置は難しいが、将来に向けて必要な検討は行っていきたい。

議員 救急ワークステーションは、救急救命士や救急隊等の教育の場であり、救急医療体制の円滑化を図ることができる。常駐型救急隊のワークステーションの設置についてどのように考えるか。

病院事務局長 救急の受け入れの充実につながる一方で、救急隊員の待機室や救急車の常駐スペースの確保等の課題がある。消防本部と協議し、医師や看護師等の調整、受け入れのための課題を整理する等、検討の必要性があると考え。

議員 救急ワークステーションは救急医療体制及び災害医療体制の強化につながる。市民の命を守る取り組みとして検討していただきたいと要望する。

第3次わらび健康アップ計画 健康寿命の延伸について

やじま さとこ議員（公明党）

議員 人生100年時代を生きる一人ひとりが将来のことを考え、自助努力をすることは重要だと考える。本市の健康寿命の延伸となるキーワードはどのようなか。

健康福祉部長 規則正しい食生活を習慣化させるために、他自治体同様、キーワードを掲げることは一定の効果があると考えており、調査・研究を進めていく。本市では、食育について周知・啓発、そして行動に結びつけていく取り組みを進めている。

議員 ぜひ健康寿命の延伸につながる食育をお願いする。

様々な世代が筋トレを行えるような健康遊具を公園や公民館等に置くことについて、どのように考えているか。

市長 筋トレにも使えるような身近な健康遊具を公園内に充実させたいと考える。公民館は、常設するには場所等の課題があるが、身近な場所で気軽に筋トレができる機会を増やすことについて、いろいろな可能性を考えていきたい。

公民館の利用について

議員 公民館を利用するための予約について、市民から予約が取りづらいとの声がある。今後の改善策を本市はどのように考えるか。

教育部長 公民館利用の利便性をさらに向上させるために、予約システムの導入とそれに伴う予約方法の変更についての検討を進めるとともに、まずは現在の予約方法の中で改善できる点は順次対応したい。

議員 一部の公民館は、部屋の空き状況が分かるように、窓口に一覧表を張り出している。今後、全館で共有していただくとともに、ホームページ等に掲載し、定期的に更新する等の対策を要望する。

伝統文化を活かした地域おこしについて

議員 公共の精神を育み、地域参加を次世代に引き継ぐためにも「わらび音頭」を継承していくことについて、本市はどのように考えるか。

総務部長 「わらび音頭」は世代を超えた市の伝統文化として市民の皆様に親しまれていることから、今後も引き続き地域参加への貴重な資源として大切に活用し、次世代に引き継いでいきたい。

市長 「わらび音頭」が市民に広く親しまれ、まちの活性化、健康、コミュニケーション、住みやすさ等につなげていけるように努力していく。

ほかに「蕨市シルバー人材センターの目的・役割」について質問。

庁舎窓口に軟骨伝導イヤホンの導入を

ほんだ ていこ議員（公明党）

議員 耳の聞こえづらい方のために、軟骨伝導イヤホンを導入することへの市長の見解はどうか。

市長 近隣自治体や金融機関等の先行事例の状況を把握した上で、導入を判断していきたい。耳の聞こえづらい方々にとって、市役所の窓口対応も含めて、安心して生活できる、外出できる環境を整備することは重要だと考える。

議員 一般の補聴器よりも安価で導入しやすいことから、自治体等に少しずつ導入が広まっている。市民サービス向上のために、軟骨伝導イヤホンの導入を要望する。

S N S による性犯罪から子どもを守るアプリ「コドマモ」

議員 愛知県警等が開発したアプリ「コドマモ」は、無料配信で子どもの位置情報も分かり、「自撮り」や「盗撮」を防ぎ、保護者にも通知がされるというペアレンタルコントロールができるシステムである。児童・生徒や保護者にとっていいこと尽くめであると考えるが、導入への見解はどうか。

市長 現在、S N S による犯罪被害は増加しており、学校、民間団体、市民団体、地域が連携して

さらに対策や取り組みを進めていく必要があると考える。このアプリを含めて犯罪被害の啓発は大切であり、推進していきたい。

議員 被害者も加害者も出さない、そして私たち大人が傍観者であってはならない。子どもを守る対策に「コドマモ」の導入を要望する。

いきいき百歳体操事業の見直しについて

議員 いきいき百歳体操事業は今後どのように変わるのか。

健康福祉部長 各地域包括支援センターにおいて、参加者に参加登録票を提出していただき、その情報を市、地域包括支援センターで共有して、参加者の把握や長期欠席者の状況を確認する等、新たなサポート体制を構築する。また、いきいき百歳体操事業補助金を新設したほか、希望のある団体へ専門職を派遣する等、活動団体への支援を強化する。

議員 新しい取り組みについて、市から各団体にプッシュ型のサポートをする必要があるのではないか。

健康福祉部長 寄り添った対応を進めるために、各団体の意向を確認しながら、補助金の申請等について、プッシュ型のサポートを行っていく。

ほかに「街区表示板の管理と早期交換」を要望。

音楽によるまちづくりについて

ふるかわ あゆみ議員（しんしょうかい）

議員 わらおん音楽によるまちづくり推進事業について今後の進め方の展望はどのようなか。

教育部長 メイン事業である蔵市民音楽祭は、様々な分野の方々にご参画いただき、実行委員会形式で実施している。企画をはじめ、当日の運営についても、実行委員のほか、各種団体や有志の方にご協力をいただいている。今後も市民参加の形を中心に、様々なアイデアをいただきながら、事業の広がりについて検討していきたい。

議員 市内にストリートピアノを設置してまちのにぎわい創出を図ってはどうか。例えば、市民会館のホワイエのグランドピアノが利用されていないときに一般開放したり、民間の店舗の空きスペースに、ストリートピアノを設置させてもらう等の方法を提案する。

教育部長 現在はストリートピアノを設置する予定はないが、市民が気軽に参加できる事業を企画するとともに、音楽や芸術文化に触れられる機会や環境づくりに努めていく。

地域通貨・地域ポイントの導入について

議員 地域DXのための地域通貨や地域ポイントの導入を本市でも検討してはどうか。

市民生活部長 地域通貨や地域ポイントの活用に当たっては、地域の魅力向上に寄与することが期待される一方で、運用や管理におけるコストやリスク、また、地域住民の利便性等を十分に検討していく必要があると考える。DXに係る地域通貨、地域ポイント事業に適した取り組みを推進する部署や関連団体と連携し、引き続き調査・研究していく。

埼玉版スーパーシティプロジェクトへの参加について

議員 埼玉版スーパーシティプロジェクトの内容は。

市長 コンパクト、スマート、レジリエンス、幅広い自治体のまちづくり、持続可能なまちづくりを支援していくことを重点に置いている県の支援事業であり、本市も同プロジェクトにエントリー



している。

総務部長 3つの要素ごとのコンセプト、検討施策をまとめたエントリーシートを県に提出しており、プロジェクトの事業化に向けて、県と協議を重ね、補助の対象となった際は、市ホームページ等で公表していく。

議員 埼玉版スーパーシティプロジェクトを上手く活用して、未来のある蕨市をつくっていただきたいと要望する。

ゼロカーボンシティに向けて、モリंगाを育ててみよう

おおいし けいこ議員（しんしょうかい）

議員 第3次蕨市環境基本計画でのCO<sub>2</sub>削減目標値への取り組み状況はどのようなか。

市民生活部長 ごみ焼却時に発電する電力の活用、公園照明灯などのLED化、地球温暖化対策設備等設置費補助金の拡充やカーボン、オフセット事業、「プランターファームinわらび」などの取り組みを進めている。地球温暖化対策は喫緊の課題なので、引き続き脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していく。

議員 片品村での「わらびの森」の整備内容はどのようなか。また、森林整備時の間伐材の利用において、乳幼児健診時に木製玩具をプレゼントする事業などの財源に、森林環境譲与税の充当は可能か。

市民生活部長 片品村と本市が連携して「わらびの森」の整備を行うことにより、CO<sub>2</sub>の吸収量の増加を図り、カーボン、オフセット事業を推進していく。

総務部長 森林環境譲与税の用途については、森林整備及びその促進に関する費用が対象となっており、木製玩具は木材の利用促進となるので、充当可能と考える。

議員 スーパーフードとして注目を浴びている「モリंगा」は、栄養成分も優れており、給食で不足しがちな鉄分も多く含む。また、CO<sub>2</sub>の吸収量も杉の倍以上といわれる。見沼田んぼでは産官学連携の栽培や、埼玉県農業技術研究センターも予備実験が始まっている。環境学習の一環として、学校で栽培するなどの活用はいかがか。

市長 「モリंगा」の活用は非常に期待が持てる、夢のある取り組みであると感じている。情報収集をして、関心を持って本市での活用方法を考えていきたい。

より充実した産後ケアを

議員 出産直後、平日の夜間や土日、祝日など、公的機関の閉庁後に相談や実動可能な窓口が必要なケースに関わった。公的サービスの隙間を埋める支援の必要性をどのように考えるか。

健康福祉部長 子どもの健やかな成長と安心した子育てに必要なだと認識している。これからも地域と連携した子育て支援体制をつくっていきたい。

ほかに「導入から5年が経過した塚越地区コミュニティ、スクール（学校運営協議会制度）の検証」「小学校の統廃合についての意見交換の有無」などについて質問。

錦町スポーツ広場の利用状況について

すずき しんのすけ議員（日本維新の会）

議員 外国人住民の増加に伴い、錦町スポーツ広場等の運動施設を利用する外国人も増加傾向にあ

るように感じる。錦町スポーツ広場の利用団体に対して、利用規約等の説明は丁寧に行われているか。

教育部長 予約システムを使用するための団体登録手続きの際に、利用についてのチラシをお渡ししているほか、適宜注意喚起やメール送信等の対応をしている。今後も利用団体には節度ある行動をお願いしていく。

議員 錦町スポーツ広場の利用に当たり、近隣住民からどのような苦情や要望等が寄せられているか。また、苦情や要望等への対応や対策はどのようなか。

教育部長 周辺道路への路上駐車、敷地内及び周辺での喫煙、ごみの散乱、あるいは、ボールが広場の外へ飛び出して周辺の建物に当たったり、それを追いかけて、広場利用者が民家等の敷地に無断で入る等の意見をいただいている。対応としては、ご迷惑をおかけしたお宅へおわびするとともに、施設予約に使用するシステムのお知らせ欄へのメッセージ掲載、利用許可書の送付時に錦町スポーツ広場の利用に関する通知を同封する等、機会を捉えて注意喚起している。また、当該団体には個別に注意を行い、改善されない場合は一定期間の利用を中止する等の対応を取っている。

市長 まずは市が定めているルールが守られているか等、確認を徹底する。その上で環境問題、施設問題等の対処に当たるが、今のままでは対応できないとなれば、ルール自体を変えることも含めて考えていく必要があるため、市長として対策に取り組んでいく。

市内小学校の体育館のコートラインについて

議員 開放利用団体が市内小学校の体育館を利用する際に、利用方法についてどのように説明しているか。

教育部長 学校体育施設の開放事業は、学校教育に支障のない範囲で利用団体にお貸しするもので、床にラインを引く場合は、床面を傷める心配の少ない推奨品のラインテープ、または同等品の利用をお願いしている。万が一、修繕等が必要になった場合には、その費用負担のほか、その間の学校運営に支障が出てしまうことから、今後も同様をお願いしていく。

前に進むために、「アピアランスケア」助成の導入を

まえかわ やすえ議員（しんしょうかい）

議員 今年度、埼玉県はがん治療と社会生活の両立と、経済的負担の軽減を図るため、アピアランス支援制度を開始したが、本市のケアの必要性及び重要性の認識についてはどのようなか。また、ケア用品購入助成制度についての考えはどのようなか。

健康福祉部長 アピアランスケアはがん治療により、外見に生じた患者の心理的負担を軽減し、その人らしい生活を送る手助けとなる意義のある支援の1つであると認識している。今後は、県のアピアランス支援事業補助制度の活用を視野に、本市におけるケア用品の購入費助成の制度化について、検討していきたい。

議員 前向きな検討をして、次年度にしっかりと形にしていきたいと要望する。

新西公民館（西公民館、老人福祉センター松原会館）建設整備の概要について

議員 継続費として補正予算が組まれたが、その内訳及びスケジュールはどのようなか。

教育部長 西公民館等建設工事設計委託料として、令和6年度に基本設計に係る設計料2,961万2千円、令和7年度に実施設計に係る設計料6,296万2千円を継続費として計上している。

令和7年3月には基本設計を終え、8月末までに実施設計を終える予定である。

議員 松原会館としての機能の継続性はどのようなか。

健康福祉部長 現在の施設が担う老人福祉センターとしての機能を踏襲するものと考えている。施設の複合化により、施設運営機能の効率化が可能となる。今後、市民のニーズに応えられるよう一層の充実を目指し、整備していきたい。

議員 公民館は地域の顔となるものである。一步ずつ段階を踏んで進めていただきたい。

家庭用防犯カメラ設置費補助制度の拡充について

議員 家庭用防犯カメラの必要性については、これまでも会派で要望してきたが、設置補助対象を現在の購入費、設置工事費、設置表示費から、リース方式等への補助まで拡充する考えはないか。

市民生活部長 今後、より多くの方が利用しやすい制度となるよう、他自治体における適用事例等を含め、調査、研究していきたい。

ほかに災害協定先について、市長のロビー活動により選定を進めた経緯があると、部長より説明がなされた。

こばやし りき議員（しんしょうかい）

文化振興について

議員 市内の各施設で所蔵している文化資源に関して、文化協会などの有識者に意見を聴いて、その価値を再認識すべきと考えるがどうか。

教育部長 現時点で価値の再認識といった具体的な作業の予定はないが、文化財の調査・保存及び活用に関しては、文化財保護審議会の会議で審議していく。今後も展示スペースや文化資源の活用については、文化協会の方をはじめ、市民の皆様の意見も伺いながら、文化振興に努める。

議員 文化資源の整理整頓を推進し、市庁舎1階に飾れる環境を作るよう検討していただきたい。また、展示スペースだけでなく、市庁舎1階には大きな壁面もあり、いろいろな方法、手法で違う展示を行うことを提案する。

防災への備えについて

議員 防災における市民、自主防災会、本市の役割はどのようなか。

市民生活部長 市民が果たす役割は、生活必需品等の備蓄、各種防災訓練への参加等であり、災害時には、初期消火の実施、救出、応急復旧活動への協力等が挙げられる。自主防災会は、防災知識の普及、啓発、防災用資機材の購入、管理等、また、避難誘導、避難所の運営等を主な活動内容としている。本市においては、市民や自主防災組織等との役割分担の下に、災害予防、災害応急対策、災害復旧に至る一連の諸施策を実施することとなる。

議員 地域全体の防災意識の高揚に向けた、本市の取り組みはどのようなか。また、市民の防災への関心について、本市の見解はどのようなか。

市民生活部長 本誌では、各種訓練や市民向けの防災講座等のほか、各種媒体を活用して、市民の意識の高揚や知識の習得を図っている。市民の災害、防災への関心はこれまで以上に高まっていると認識しており、一人でも多くの方に自助意識を高めていただけるよう、機会を捉えて重要性を繰り返し呼びかけていく。

議員 「そうまひょうろうぐら」は福島県相馬市にある防災備蓄倉庫で、日本各地から物資が届け

られている。「そうまひょうろうぐら」についてどのような認識か。

市民生活部長 本市に大規模な防災備蓄倉庫を設けることは難しいが、万が一、広域避難となった場合、避難されている方々の生活必需品等の備蓄をどのように考えていくべきか、「そうまひょうろうぐら」を研究していきたい。

個別の状況に応じた水害対策の推進を

すずき さとし議員（日本共産党）

議員 大規模水害時の避難行動に関する取り組みは。

市民生活部長 想定浸水深に達する洪水が想定される場合、避難所開設に合わせて避難情報を発令。住まいが堅牢で高さがあり備蓄がある場合は、自宅での待機や垂直避難を検討することや、安全な場所に親せきや知り合いなどがいる場合は、そちらへの避難も推奨している。自ら迅速に最適な避難行動を判断することが重要であり、洪水ハザードマップに「マイ、タイムライン」作成ページを設けるなどした。

議員 個別の環境は様々であり、自分の生活環境等にあった避難方法を迷う市民もいる。より積極的な対応を要望する。一人暮らしの高齢者など夜間等の避難が不安な人の予備的な避難場所の検討も必要。ところで、豪雨等の内水被害対策、増設するどのうステーションはどのようなか。

都市整備部長 ハード面の整備のほか、内水ハザードマップの改定等を予定。どのうステーションは、現在の7か所に5か所を増設し周知を図る。

学校給食費無償化の推進を

議員 様々な課題があったと思うが、物価高騰の中で2人目以降無償化に踏み切った努力に感謝する。償還払いの解消や市税完納要件見直し等の改善についての見解は。

教育部長 給食費を徴収しない減免方式は膨大な業務の発生等が想定されるため難しいものと考ええる。給付時期や市税完納要件の見直しについては課題を整理し検討する。

議員 完全無償化への見解は。

市長 学校給食費無償化は重要な課題であり、国と連携して完全無償化を目指すことと、市独自の2人目以降無償化をマニフェストで掲げ、2人目以降無償化を実施した。引き続き、国にもスピード感ある対応を要望し対応する。

外国人差別のないまちを

議員 ヘイトスピーチ等は重大な問題であり、本市でも、多文化共生の推進とともに、外国人差別を許さない対策が必要と考える。条例化も含め本市の見解は。

市民生活部長 差別意識を助長・誘発する排他的言動は許されない。法務省作成の啓発冊子等の活用など、差別や偏見の解消に努め、日本人・外国人を問わず、市民一人ひとりの尊厳と人権が尊重される社会の実現に取り組む。

総務部長 県や川口市とも連携し周知・啓発に取り組む。条例制定は研究課題と考える。

ひとり暮らし高齢者等への見守り

やまわき のりこ議員（日本共産党）

議員 市内のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯の世帯数等、実情についての把握はどのようなか。

健康福祉部長 令和2年度以降、75歳以上の全世帯としての正確な数は把握していない。令和6年度の調査実施に当たり、対象年齢や実施方法について、検討・協議している。

議員 高齢者等の見守りについて、市内での取り組み状況はどのようなか。

健康福祉部長 民生委員や地域住民の協力による見守り活動等を行っている。事業者との連携協定を結ぶ「見守りネットワーク活動に関する協定」や、24時間対応の緊急通報サービス事業、配食サービスの実施、ふれあい収集事業も開始した。

議員 超高齢化社会に対応したまちづくりを進める市長の見解はどうか。

市長 重要な課題である。様々な認知症対策や見守り対策を行っていく。全高齢者調査も再開する。「子育てするならわらび」子育て支援策の充実を

議員 保育園と留守家庭児童指導室の新年度入園、入室申込者数と不承諾者数、待機児童数はどのようなか。

健康福祉部長 令和6年4月1日、保育園の新規入園希望者は316人で、そのうち不承諾者数は32人となっており、待機児童数は0人。また、留守家庭児童指導室（公設・民営を合わせて）の新規入室希望者は305人、不承諾者は、新規入室希望者7人、継続希望者37人の合計44人、待機児童数は0人。

学校トイレ洋式化の推進を

議員 4年間で全ての学校トイレ洋式化を実施するための具体的なスケジュールはどのようなか。

教育部長 令和7年度に小学校3校、令和8年度に小学校4校、令和9年度に中学校3校においてトイレ改修を実施し、全ての学校の洋式化を完了させる予定で考えている。

市長 子育ての支援と教育の拡充として校舎・体育館の耐震化、教室や体育館へのエアコンの設置、ICT環境の整備等を行ってきた。体育館は大規模改修時にトイレ洋式化を実施。学校トイレ洋式化も約24%から約60%弱へと適宜進めてきた。切実度が高まっている。中学校生徒会からも要望があり、4年間で終わるように取り組んでいきたい。

楽しく歩いて健康づくり、ウォーキング施策の今後について

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 補正予算でウォーキングイベントの予算が組まれた。

市長 マニフェストにある「健幸まちづくり（スマートウエルネスシティ）の推進」も含め、今後の取り組みは。

健康福祉部長 本市の特徴を生かした取り組みを全庁的に検討する。今年度中にアクションプランを策定し、コバトンアルコウマイレージの普及・啓発やウォーキングイベントを行っていききたい。

議員 コバトンアルコウマイレージは、スマホを活用して歩いてポイントを貯め、抽選で景品が当たる仕組みだが、当選確率が低そうだ。最初の抽選で外れて辞める人が多くならないよう、市独自のプレゼントなども検討してほしい。

市職員による不適正な記事作成 再発防止を

議員 男女共同参画啓発紙「パートナー」について、市民の編集委員に許可を得ず、職員が紙面を作り、発行後に編集委員から「こんな発言をしていない」と言われ問題となった。市長はどのように感じ、どのように対応したか。

市長 率直に言って、あり得ないこと、あってはいけないこと。なぜ確認をしなかったのか職員本人、上司に厳しく指導した。

議員 こういったことが大きな事案につながることもあり得る。今後、このようなことがないようにしてもらいたい。

地方自治法の改正での影響は

議員 国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生した場合に、個別の法律に規定がなくても国が自治体に必要な指示ができるとする特例を盛り込んだ地方自治法の改正が行われた。地方自治体への影響も懸念されるが市長の考えはどうか。

市長 拡大解釈もあるのではないかと全国知事会、一部の首長の声や、地方議会からの慎重審議の意見書、日弁連からの反対表明などがあり、私自身も同じ懸念を持っている。あくまでも例外であるとか、事前に自治体の声を聴く努力をするなど盛り込まれたが、これで懸念が払拭されたかという、拭い去れないという思いもある。周辺事態法や感染症は個別の規定や必要な立法事実があれば個別法で対応できる。それで想定されないものは何なのかというと抽象的な議論になってしまう。今回、初めての国の指示権が恣意的な運用にならないように、あるいは拡大解釈されないように注視していきたい。

蕨駅西口再開発地区の風対策について

ひき こうじ議員（しんしょうかい）

議員 蕨駅西口再開発地区の風対策について、建物の形状による風対策はどのようなか。

都市整備部長 蕨駅西口地区市街地再開発組合では、コンピュータによるシミュレーションや模型による風洞実験等により、風環境の軽減に努めている。建物の線路際のB棟は、上層階からの吹きおろしの風を低層階の屋根で受ける構造とすることや、駅前広場に面するA棟は、低層部分の一部にひさしを設けることで風の軽減を図る。

議員 南方面から駅に向かう人が2階デッキを経由して、蕨駅前の再開発ビルに入る動線を確保できるのか。また、雨はしのげるのか。

都市整備部長 再開発ビルと駅舎をつなぐ連絡通路を経由することで、再開発ビルの2階デッキ部分まで、直接行き来できる構造となっている。また、再開発ビルから連絡通路を経由し、駅舎に行くまでの2階部分で、雨に濡れずに移動できるような動線の確保を組合に求めている。

議員 通行人のためにも、組合との協議を進めていただきたいと要望する。

避難情報の発令と在宅避難の判断について

議員 地域防災計画の風水害対策で、避難情報の発令と在宅避難の判断についてはどのようなか。

市民生活部長 避難情報の発令基準として、指定河川洪水予報により、荒川の水位が氾濫危険水位に到達する予測が発表されている場合等に、警戒レベル3の高齢者等避難を発令し、荒川の水位が氾濫危険水位に到達した場合等は、警戒レベル4の避難指示を発令することになる。また、関係機関からのホットラインや、近隣市の対応も参考にしながら判断している。なお、自宅が堅牢で備蓄が確保できている場合等は、在宅避難を検討できるほか、市外を含め、安全な場所に避難することも推奨している。

健康診断、検診未受診の対応について

議員 児童、生徒が健康診断、検診を未受診の場合、学校医の医療機関へ受診することはできないか。

市長 医療機関を受診していただくことは可能だが、費用負担がないようにするには調整や課題が出てくる。いろいろな家庭事情等もあり、現状としては難しい。

議員 対策を検討していただきたい。

ジェンダー平等社会の実現に向けて

みやした なみ議員（無所属）

議員 本市の男女共同参画パートナーシッププラン（第3次）において、ジェンダー平等の位置づけはどのようなか。

市民生活部長 理念として「多様性を尊重し、誰もが活躍できるまち蔵」と定めたほか、「ジェンダー平等の実現に向けた環境づくり」と位置づけ、「ジェンダー平等の意識の醸成」、「教育の場における学習環境の推進」、「生涯学習等を通じた学びの機会の提供」の3つの施策を通じて、一人ひとりの人権を尊重する意識づくりを進めることとしている。

包括的性教育、S R H R（セクシュアル、リプロダクティブ、ヘルス、ライツ）性と生殖に関する健康と権利について

議員 本市の見解と取り組みについてはどのようなか。

市民生活部長 性と生殖に関する健康と権利は、全ての女性が生き生きと自分らしく安心した生活を送れる社会の実現に向け、重要であると認識している。女性の生涯における健康問題について、男女が共に関心を持つとともに、正しい知識が得られるよう、市民団体等と協力し、研修会や講演会を開催するほか、男女共同参画啓発紙「パートナー」の発行により、引き続き啓発や理解促進に努める。

議員 包括的性教育の効果を具体化していくために、ユースクリニックの見学や体験をすることを提案する。また、文部科学省の「生命の安全教育」を取り入れてほしいと考えるがいかがか。

教育部長 文部科学省では全国の学校で「生命の安全教育」を推進しており、本市の各学校においても教材の活用方法を検討している。性に関する指導に限らず、健全な自尊心を高めるための授業を行う等、児童・生徒の実態を踏まえた取り組みを推進している。

ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度について

議員 物価高騰により、家賃も高くなってきていると思うが、制度拡充についての考えはどのようなか。

健康福祉部長 助成の基準となる家賃額については、総務省統計局が5年ごとに行う住宅・土地統計調査の結果を参考に設定されている。令和5年の調査結果が今年9月頃に公表される予定であり、精査の結果、上限額を見直す必要があると判断した場合には、令和7年度からの拡充を目指して要綱等の改正を行う。

議員 今後、制度拡充に向けて検討してほしいと要望する。

請願と陳情の提出方法はこちら

請願、陳情とは、市政等に関する意見や要望を議会に対して述べる制度です。蔵市議会では、請願、陳情を市民の皆さまからの政策提案と位置付け、委員会の審査において、その提案者から意見を聴

く機会を設けています。請願、陳情は①から⑥の必要事項を記入して作成し、議会事務局にご提出ください。提出時期はいつでもかまいませんが、当該定例会にかかるものは事務処理の都合上、定例会招集日の9日前（当日が休日にあたる場合は、休日直前の平日）の午後5時で締切となります。なお、詳細は議会事務局へお問い合わせください。

①請願、陳情の件名

②議会事務局への提出年月日

③あて名（蕨市議会議長）

④請願、陳情者の住所、氏名（自署または記名押印）

なお、複数人で提出する場合は代表者を決めてください

⑤請願の場合のみ、1名以上の紹介議員の署名または記名押印

⑥要旨、理由等（内容は簡潔明瞭にお願いします）

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は原則として一般に公開されており、傍聴することができます。

議場及び委員会室は市役所5階です。事前予約は必要ありません。お気軽にお越しください。

傍聴ロビー

本会議の日には、傍聴ロビーに傍聴受付が設けられています。眺望を楽しみながらお待ちいただけるスペースとなっています。

傍聴席

市議会では、本会議がどのように進められているかを市民が直接見たり聞いたりできるように、議場に傍聴席を設けています。市議会議員の活動や市政の動きなどを知ることができます。

スロープ

傍聴席に向かう通路には緩やかなスロープが設けられています。スロープを上った先には傍聴ロビーがあり、傍聴者が待つスペースとなっています。

車いすスペース

車いす2台分のスペースがあり、車いすに座ったまま傍聴することができます。

磁器ループ

傍聴受付では写真の磁器ループの貸出を行っています。磁器ループは耳の聞こえにくい方などがイヤホンで聞きとりやすくするものです。貸出をご希望の方は、傍聴受付にてお気軽にお申し出ください。

9月定例会の日程（予定）

9月2日、月曜日、開会

6日、金曜日、議案質疑、委員会

9日、月曜日、委員会、分科会

10日、火曜日、委員会、分科会

11日、水曜日、委員会、分科会

19日、木曜日、一般質問



20 日、金曜日、一般質問

24 日、火曜日、一般質問

25 日、水曜日、委員会

27 日、金曜日、閉会

議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

6 月 21 日「9 月発行号の概要、議会報告会について」

7 月 23 日「議会報告会について」

8 月 13 日「9 月発行号の最終確認、議会報告会について」

第 9 回 議会報告会を開催します

9 回目となる今年度の議会報告会は、下記の日程・会場で開催します。当日は『インターネットでの同時配信』を行い、後日『ケーブルテレビ「ウイंक」の放送』と『インターネットでの録画配信』をする予定です。報告する内容などの詳細については、決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

事前の申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。また、会場に来られない方については、インターネットでの同時配信をぜひご覧ください。

日時、11 月 7 日木曜日 19：00 から 20：00、場所、西公民館 2 階集会室

インターネットで同時配信します

《ケーブルテレビ「ウイंक」放送予定》

11 月 22 日金曜日から 11 月 28 日木曜日

来場者には花苗プレゼント

編集後記

6 月定例会でも、質疑や討論、一般質問など、多くの発言がありました。時には異なる意見がぶつかることもあります。議会活動に議論は不可欠。各議員は経験や知識、調査結果などを総動員して準備し、採決での態度を検討します。そうした中で特に大切なのは市民から寄せられる声です。11 月 7 日に行われる議会報告会は、議会活動を知っていただき、意見や質問、要望などをいただく重要な取り組みです。より幅広い皆さんからお話を伺うために各地域での開催を目指し、今年度は西公民館を会場に。もちろん、昨年同様、ウイंकでの録画放映やYouTube配信も行います。

ご意見やご質問などお寄せください。議員一同、緊張しつつも楽しみにお待ちしています

広報広聴委員会

委員長、おいしけいこ

副委員長、かなまるけんじ

委員、みやしたなみ、すずきしんのすけ、おかだみきお、やじまさところ、えのもとかずたか、すず

きさとし、おおいしこういち、ふるかわあゆみ